年度末報告書（資金分配団体）

● 提　出　日　：２０２２年　５月１３日
● 事　業　名　：ひと・まち・げんき助成事業
● 資金分配団体　：一般財団法人　大阪府地域支援人権金融公社
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1.交流を目的とした取り組み。	支援地域で取り組みをした団体数	支援地域で取り組んだ団体数 8	2022 年 2 月	８団体（取り組み内容） 1.岬町人権協会（買い物支援・見守り事業・集い橋「カフェ」・カフェグリーンヒル・喫茶どんぐり） 2.スイスイすていしょん（親子で楽しむ学習会） 3.人権尊重の矢田まちづくり委員会（ふれあい食堂、地域清掃、ワークショップ） 4.タウンスペース WAKWAK（学習支援・フードパントリー） 5. 三島コミュニティアクションネットワーク（安心ドアセンサー設置事業、避難計画策定事業） 6.釜ヶ崎支援機構（健康体操） 7,住吉隣保事業推進協会（どっこい隊事業・どっこい喫茶・住吉べんきょう会（学習支援）・寿こども料理食堂・ふーどばんくサテライト・居場所＆出番マップづくり） 8.富田林人権協議会（スタンプラリー・ボランティアオリ	2

				エンテーション）	
2.支援地域で総合相談等の取り組み	①総合相談等の取り組み ②専門相談等へつないだ取り組み	①支援地域で取り組んでいる団体数８ ②支援地域で取り組んでいる団体数８	2022 年 2 月	①６団体（取り組み内容） 1.岬町人権協会（見守り事業／コロナワクチン接種の相談） 2.スイスイすていしょん（生活相談会） 3.人権尊重の矢田まちづくり委員会（コロナワクチン接種相談等） 5. 三島コミュニティアクションネットワーク（総合生活相談） 6.釜ヶ崎支援機構（シェルター入場システム） 7,住吉隣保事業推進協会（総合生活相談会／無料弁護士相談／ケース会議／子どもの見守り支援） ②3 団体 2.スイスイすていしょん（学校・区役所） 6.釜ヶ崎支援機構（大阪市・医療センター） 7,住吉隣保事業推進協会（ハローワーク・学校・区役所・弁護士	2
3.支援地域で異世代交流のサロン・食事会等の居場所づくりの取り組み。	サロン・食事会等の居場所作りの取り組み	サロン・食事会等の居場所づくりを取り組んだ団体数８	2022 年 2 月	６団体（取り組み内容） 1.岬町人権協会（集い橋「カフェ」・カフェグリーンヒル・喫茶どんぐり） 2.スイスイすていしょん（スイスイ食堂） 3.人権尊重の矢田まちづくり委員会（図書活動・ふれあい食堂・寺子屋） 4.タウンスペース WAKWAK（子ども居場所事業、社会的孤立世帯が参加できる事業） 6.釜ヶ崎支援機構（古民家にて多様な生きづらさを抱えた人たちの居場所）	3

				7,住吉隣保事業推進協会（どっこい喫茶・寿こども料理食堂・住吉べんきょう会）	
4.支援地域で上記１．２．３より生活の一端を支援してもいいという新たなパートナーの発掘や活動できる場の提供。ボランティアや新たな活動に参加者が増える	①ボランティアが増えた実行団体数 ②支援者が増えた実行団体数 ③支援団体が増えた実行団体数	①ボランティアが増えた実行団体数８ ②支援者が増えた実行団体数８ ③支援団体が増えた実行団体数８	2022 年 2 月	①８団体 1.岬町人権協会（喫茶を中心とした各種事業にボランティア参加） 2.スイスイすていしょん（子ども食堂＝相談者がボランティア参加） 3.人権尊重の矢田まちづくり委員会（古民家ワークショップ＝地域住民） 4.タウンスペース WAKWAK （学習支援＝大学生） 5. 三島コミュニティアクションネットワーク （避難計画策定＝地域住民） 6.釜ヶ崎支援機構　（健康体操＝地域住民） 7,住吉隣保事業推進協会（どっこい隊＝地域住民、住吉べんきょう会＝大学生） 8.富田林人権協議会（ボランティアオリエンテーション＝地域住民） ②５団体 2.スイスイすていしょん（賛助会員） 3.人権尊重の矢田まちづくり委員会（図書館活動） 4.タウンスペース WAKWAK（クラウドファンディング） 6.釜ヶ崎支援機構（クラウドファンディング） 7,住吉隣保事業推進協会（寄付） ③８団体 1.岬町人権協会（岬町／ふーどばんく OSAKA／大阪府警）	3

				2.スイスイすていしょん（ふーどばんく OSAKA／野村不動産（株）／三菱 UFJ 銀行／（株）ブレイン・正恩寺） 3.人権尊重の矢田まちづくり委員会（ふーどばんく OSAKA） 4.タウンスペース WAKWAK（ふーどばんく OSAKA／阪急・阪神ホールディングス／大阪大学／関西大学／平安女学院大学／吉野家） 5. 三島コミュニティアクションネットワーク（追手問大学／社協／民生委員） 6.釜ヶ崎支援機構（大阪市／西成区／社会福祉協議会／社会医療センター／（株）ナイス） 7,住吉隣保事業推進協会（ふーどばんく OSAKA／阪急・阪神ホールディングス㈱／大阪大学／関西大学／ライフサポート協会／住吉区／大阪市社会福祉協議会／自治会／住吉区役所） 8.富田林人権協議会（ふーどばんく OSAKA／関西スーパー／サンプラザ／服屋（きたもんや）／社会福祉協議会／民生児童委員／校区交流会議	
5.新型コロナウイルスの感染に備えた体制づくりをおこない、コロナ禍においても事業継続できるようになる。	5 新型コロナウイルスの感染に備え、ネット環境の整備、対面活動時の感染予防対策、相談員の拡充、居場所などの整備を行い、事業継続できる体制を整えた実行団体数。	5 新型コロナウイルスの感染に備え、指標に掲げた整備を行い、事業継続できる体制を整えた実行団体数 8	2023 年 2 月	8 団体	

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
6.支援地域において実行団体間のコミュニケーションが深まる。	①実行団体同士の交流会の実施回数。 ②実行団体同士の事例検証学習会の回数	①年 2 回 ②年 1 回	2023 年 2 月	①2 回（第 1・4 回目の研修時にワークショップなどを取り入れ団体同士の交流を図る。 ②実行団体タウンスペース WAKWAK の取り組みの事例研修をおこなう。	①2 ②2
7.支援地域において、実行団体への様々なサポートが行われる（この経験が蓄積される）	①研修会の実施回数や助言の回数、実行団体に対して行った訪問サポートの回数。 ②実行団体からの、その他補助金や助成金等の資金全般に関する相談数。 ③コミュニティカフェ等の事業運営への資金等を含む支援回数	①訪問サポート 8 団体×12 か月＋全体研修年 3 回＝99 回 ②年 8 回 ③年 8 回	2023 年 2 月	①2021 年度 8 団体×12 か月＋全体研修 4 回実施＝100 回実施 ②なし ③なし	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.非資金的支援の活動に関する報告
【実行団体向け全体研修会を４回実施】 ①８月４日「組織づくり・人づくりを共に考える」講　師：高見　一夫 氏(A´ワーク創造館 館長) 場　所：A´ワーク創造館　開催方法：会場参加　（内容）組織づくり・人づくりについて話題提供。ワークショップ。 ②９月９日「中間評価に向けての研修・相談会」講　師：伊藤 健氏（(特非）ソーシャルバリュージャパン代表理事） 開催方法：オンライン　（内容）中間評価に向けての JANPIA 書式の説明、評価のやり方の事例紹介・個別相談会 ③１２月２日「(一社）タウンスペース W AKWAK の取り組みとクラウドファンディング」 場　所：高槻市立富田ふれあい文化センター 研修室　開催方法：会場参加 （内容）資金調達・クラウドファンディング・フィールドワーク ④４月７日「誰に伝えよう？何を伝えよう？広報のいろは－内外の関係性のつくり方とそのツール」 講　師：畠　健太郎 氏（プリズムデザインラボ代表）　場　所：A´ワーク創造館　開催方法：会場参加 （内容）出口戦略に向けての広報のやり方を学ぶ。ワークショップやフリーディスカッション。 ※原則、実行団体は参加となっているが、やむを得ない事情で欠席される方には後日 YouTube 動画を案内する。 【実行団体の支援・Ａダッシュのレディメイド講座】 １６講座・　４３コマ・　１３人 ・キャリアデザイン　：資格取得（1）　・専門知識　：ＩＴ・プログラミング（1）・デザイン制作＆広報：デザイン基礎（)、 広報・PR・営業（1）・ビジネススキル：ビジネス基礎（1)、経理（1)、経営（6）コミュニケーションスキル（5）

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・緊急事態宣言下等での各団体への訪問及び対面での学習会・研修時には、ＺＯＯＭ等を使用した。 ・事業活動がコロナ禍で前に進まない団体へ、他団体が工夫して活動をしていることを共有し提案した。

① 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
□自団体のウェブサイトで表示している　□広報制作物に表示している □報告書に表示している　□イベント実施時に表示している　□その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） なし 2.広報制作物等 なし 3.報告書等 なし 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） なし

④規程類の整備に関する報告

1. 規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　□一部未公開　□未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
2. 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。

☑はい　　☐いいえ
→「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：必要に応じて開催
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）

☐内部監査を実施　☑外部監査を実施　☐実施する予定がない
→「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）